

質問1

【つなぎマップ入力フォーム】

- 1) 組織・団体名 全角 漢字、かな、カタカナ、アルファベット
母団体がある場合はその組織名 (例えば こころのケア 日本赤十字社)
フリガナ
- 2) 担当者/報告者名 全角 漢字、かな、カタカナ、アルファベット
フリガナ
- 3) 連絡先 電話 メールアドレス 半角
- 4) メンバー人数
数字
- 5) メンバー構成 チェックボックス
 医療従事者
 医師 看護師 心理士 SW PT,OT 事務職 その他
 非医療従事者
 行政職員 保健師 ボランティア その他
- 6) 支援対象
 要配慮者
 それ以外の人々
- 7) 活動領域 クラスター分類 11項目から選択 (複数選択可)
 輸送 栄養 食料確保 避難所 仮設住宅運営
 保健 保護 通信 早期復旧 教育 水と衛生

注)

輸送 : 大量のものや人を運ぶ仕組みです。クロネコヤマトや、飛行機会社やJR、日本郵政など。

栄養・食料確保 : 食料確保はその国の主食を、非常に大人数に対して確保する領域です。栄養は、必要なカロリーがとれているのか、必要な栄養素がとれているのか支援する領域です。子どものミルクなどの支援も、栄養の領域が担当します。

避難所・仮設住宅運営 : もともと英語では避難所は「Shelter (一時避難所)」、仮設住宅運営「Camp Management (難民キャンプ運営)」と記載されていますが、日本人に馴染みやすい言葉に書き換えています。

保健 : 医療・保健・福祉・公衆衛生すべて含まれます。

保護 : 災害が起きて、起きたあとでも、被災された方たちの身体的、心理的、社会的、宗教的、政治的なあらゆる被害から保護される権利を持っています。消防や警察なども含まれます。

通信 : あらゆる通信手段の再構築やより良いシステムの構築。

早期復旧 : 電気やガスなど、普段生活するときに欠かせないインフラストラクチャーを指します。

教育 : 日本では、避難所に学校が指定されていることが多く、避難所が開設されているあいだ、子どもの学ぶ権利、遊ぶ権利が著しく損なわれてしまいます。心理的応急処置 (PFA) の視点でも、この教育は大事な領域です。子ども広場 (Child Friendly Space) は、子どもにとって遊び場ともに学びの場を確保する大事な支援になります。

水と衛生 : 日本では飲水と生活用水の区別がありません。日本は、インフラストラクチャーでトイレに上水道が通っていて、飲水でおしりを毎回ウォシュレットで洗っているのは日本くらいです。他の国の人々が感激して自国に持って帰ってもウォシュレットが使えないことが多いです。し尿処理・排泄物処理も含まれます。

注) こころのかまえ 香田、原田 2020 より引用

- 8) 活動場所
記載orチェックボックス
 避難所
 仮設住宅
 各戸訪問
 救護所
 保健所
 医療施設
 その他 → 記載

- 9) 活動期間
西暦 20××.×.×～20××.×.×

- 10) 活動の受益者数を教えてください。
記載

- 11) (活動に際してMHPSSサポートの有無)
支援活動を行うにあたり精神・心理の専門家が関わりましたか。
イエス → 11).1 11).2

- 11).1 専門家はどのような方ですか 複数選択可
 精神科医師
 精神科以外の医師
 精神科看護師
 精神科以外の看護師
 心理士
 精神保健福祉士 PSW

- 11).2 その専門家は支援のどの時期に関わりましたか
 計画時
 実施時
 実施後

質問2 4Wsコーディング用

<災害の影響を受けた地域を対象とした支援活動についての質問>

1. 被災地域への情報提供

1.1 被害状況、救援活動、生活支援（罹災証明、被災者生活再建支援制度、弔慰金等も含まれるか？）に関する情報提供をしましたか。

※例えば、組織や団体等によるちらし配布、
テレビ、新聞、ラジオによる情報発信
SNS、Webサイト、ホームページなどによる情報発信など。

イエスにチェック → レベル1へ振り分け

1.2 精神保健・心理社会的支援に対する啓発活動をしましたか。

※例えば、ストレス対処法などの情報提供や利用できる精神保健サービス・心理社会的支援（精保センターから発出される災害時のこころのケアに関するリーフレット等）に関するメッセージなど。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

1.3 その他 上記の情報提供を特定の人々に向けて行いましたか。

特定の人々： 災害時要配慮者（高齢者、乳幼児妊産婦、障害を持つ人、外国人等）

イエスにチェック → レベル3に振り分け

2. 被災地域の人たちの主体的な活動

2.1 地域が主導で行う緊急支援活動へ協力をしましたか。

※例えば被災地域の組織（消防、警察、医療救護班、自治体、市民団体など）が主導して行う支援活動に対して計画段階から協力、支援。

イエスにチェック → レベル1に振り分け

2.2 地域の方々が参加する支援調整会議などの場を作ることへ協力をしましたか。

※例えば緊急事態に対応するための議論、問題解決、および活動計画策定をするための会議体づくり等への協力。

イエスにチェック → レベル1に振り分け

3. 地域および家庭支援の強化

3.1. 地域が主体・中心となって行う社会的支援活動へ協力をしましたか。

※例えば、被災地域の住民が自主的に始めた炊き出し、がれき処理や屋内の片付け、高齢者の給水支援、子どもの預かりなどの社会的支援活動へのサポート。

イエスにチェック → 3.1.1の質問へ

3.1.1 在宅避難、車中泊、仮設住宅等で孤立した人々に対する参加を促しましたか。

イエスにチェック → レベル3に振り分け

イエスにチェックなし → レベル2に振り分け

3.2. 育児支援や家庭支援を強化するための活動を行いましたか。

※例えば、離れ離れになった親子の再会支援、代替ケアの支援、健康管理支援、授乳・アレルギー食など栄養支援、入浴・沐浴サポート、家事サポート、育児相談、育児交流、父子家庭支援、避難所巡回相談など。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

3.3. 災害時要配慮者（傷病者、妊産婦、高齢者、乳幼児、日本語を母国語としない人、障害を持つ人）に対する地域支援の調整をしましたか。

※例えば、要配慮者のニーズに対応するための避難所運営サポート。医療支援活動であれば、JRAT（日本語）、透析ネットワーク、帝人酸素などによるサポートなど。

イエスにチェック → レベル3に振り分け

3.4. 予め内容・場所・時間が設定された健康・生活の支援活動を行いましたか。

※例えば、住民参加のラジオ体操、ノルディックウォークなどの活動支援。移動手段がなくなった被災者への車やバスの手配。若者に対するリスク（アルコール、たばこ、薬物等）軽減のためのグループ活動支援など

イエスにチェック → レベル2に振り分け

3.5. 予め内容・場所・時間が設定された娯楽活動や創造的な活動を行いましたか

※例えば、芸術活動（音楽コンサート、アートや楽器、演劇ワークショップ、郷土芸能など）、ものづくりなどの共同活動、被災地の課題解決のための交流会など。

4.1のチャイルド・フレンドリー・スペース（キッズ・スペース）は含みません。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

3.6. 乳幼児期の子どもの発達支援（0～8歳）

※例えば、音楽に合わせた歌やリズム遊び、言葉遊び、積み木や工作活動、読み聞かせ、体操など、心身の健全な発達を支えるための発達段階に合わせた遊びや学びの支援。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

3.7. 祭りなど地域に根ざした伝統的な活動や行事を地域の人々が円滑に行えるように支援しましたか。

※例えば、地域伝統の祭り、盆踊り、花火大会等の行事。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

4. 安全な場の提供

4.1 チャイルド・フレンドリー・スペースを開設・運営しましたか。

※例えば、子ども・子育て支援団体などが避難所の一角などで子どもが安心して安全に遊べる場所を支援。「キッズスペース」や「こどもひろば」、「子どもにやさしい空間」など呼び名は多様。

イエスにチェック → レベル3に振り分け

4.2 その他安全の場を提供する活動を行いましたか。

※例えば、日本語を母国語としない方、妊産婦、障害を持つ方、ペットを持つ方への安全な場所提供など。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

5. 教育分野における心理社会的支援

5.1 学校/学習の場における教師/その他のスタッフに対する心理社会的支援を行いましたか。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

5.2 学校/学習の場における子どものクラス/グループへの心理社会的支援を行いましたか。

イエスにチェック → 5.2.1へジャンプ

5.2.1

5.2.1.1 緊急支援スクールカウンセラーによる巡回や相談などを行いましたか。

イエスにチェック → レベル3に振り分け

5.2.1.2 小中高校生を対象としてストレス対処や「心のサポート授業」などを行いましたか。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

5.3 学習支援、復学支援、学用品支援、課外活動支援などを行いましたか。

イエスにチェック → レベル1に振り分け

6. 様々な側面から適切な社会的・心理社会的配慮を取り入れるための支援

6.1 支援組織や支援者に対して、その活動プログラムにおける社会的・心理社会的配慮に関するオリエンテーションや啓発を行いましたか。

※例えば、個人や組織を対象とした支援者支援、「こころのケア」に関するセミナーやオリエンテーション、リーフレット配布による啓発活動。

イエスにチェック → レベル1に振り分け

<災害の影響を受けた人々を対象とした支援活動についての質問>

7. (個人に焦点をあてた) 心理社会的支援活動

7.1 心理的応急処置 (Psychological First Aid : PFA) を用いましたか。

イエスにチェック → 7.1.1へジャンプ

7.1.1

7.1.1.1 地域社会全体に対して行いましたか。

イエスにチェック → レベル3に振り分け

7.1.1.2 特別なニーズのある方に個人的に行いましたか。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

7.2 脆弱な個人・家族に対して、保健医療サービス、生計支援、地域資源など地域の支援サービスに結びつけ、支援が提供されているかどうかの確認をしましたか。

※例えば、民生委員、保健師、ソーシャルワーカーなどによる巡回相談や、それら支援のサポートなど。

イエスにチェック → レベル2に振り分け

8. 心理的介入

8.1 個人に対する基本的な相談を行いましたか
イエスにチェック → 8.1.1へジャンプ

8.1.1 予め時間・場所を指定した相談ですか
イエスにチェック → レベル4に振り分け
チェックなし → レベル3振り分け

8.2 グループ・家族に対する基本的な相談を行いましたか
イエスにチェック → 8.2.1へジャンプ

8.2.1 予め時間・場所を指定した相談ですか
イエスにチェック → レベル4に振り分け
チェックなし → レベル3に振り分け

8.3 アルコール・薬物使用問題への介入をしましたか
イエスにチェック → 8.3.1へジャンプ

8.3.1 予め時間・場所を指定した活動ですか
イエスにチェック → レベル4に振り分け
チェックなし → レベル3に振り分け

8.4 心理療法を行いましたか
イエスにチェック → 8.4.1へジャンプ

8.4.1 予め時間・場所を指定した活動ですか
イエスにチェック → レベル4に振り分け
チェックなし → レベル3に振り分け

8.5 個人・グループに対する心理的デブリーフィングを行いましたか
イエスにチェック → 8.5.1へジャンプ

8.5.1 予め時間・場所を指定した活動ですか
イエスにチェック → レベル4に振り分け
チェックなし → レベル3に振り分け

8.6 そのほかの心理的介入を行いましたか
イエスにチェック → 8.6.1へジャンプ

8.6.1 予め時間・場所を指定した活動ですか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け
チェックなし → レベル3に振り分け

9. 精神保健を専門としない保健医療従事者（プライマリ・ヘルスケア、術後病棟担当者など）による精神疾患に対する臨床的支援活動

9.1 精神保健を専門としない保健医療従事者が、精神疾患に対して薬物を用いない支援活動を行いましたか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け

イエスの場合

9.1.1 あてはまる活動内容にチェックしてください。

1. (個人に焦点を当てた) 心理社会的支援活動

心理的応急処置 (Psychological First Aid : PFA)

脆弱な個人/家族を地域の支援サービス (例えば保健医療サービス、生計支援、地域資源など) に結びつけ、支援が提供されているかどうかを確認。

※例えば、民生委員、保健師、ソーシャルワーカーなどによる巡回相談や、それら支援のサポートなど。

その他の活動

2.心理的介入

- 個人に対する基本的な相談
- グループ・家族に対する基本的な相談
- アルコール/物質使用問題への介入
- 心理療法
- 個人・グループに対する心理的デブリーフィング
- その他の介入

活動の具体的な内容（回答を入力）

9.2. 精神保健を専門としない保健医療従事者が、精神疾患に対して薬物を用いた支援活動を行いましたか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け

9.3. 地域の保健医療従事者が、精神疾患を有する人々を認識し、専門家につなぎ、治療継続の見守りを行いましたか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け

10. 精神保健を専門とする保健医療従事者（プライマリ・ヘルスケアや一般保健ケア施設、精神保健ケア施設等で働く精神科医、精神科看護師、心理士など）による精神疾患に対する支援・管理

10.1. 精神保健を専門とする保健医療従事者が、精神疾患に対して薬剤を用いない支援活動を行いましたか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け

イエスの場合

10.1.1あてはまる活動内容にチェックしてください。

1.（個人に焦点をあてた）心理社会的支援活動

- 心理的応急処置（Psychological First Aid：PFA）
- 脆弱な個人/家族を地域の支援サービス（例えば保健医療サービス、生計支援、地域資源など）に結びつけ、支援が提供されているかどうかを確認。※例えば、民生委員、保健師、ソーシャルワーカーなどによる巡回相談や、それら支援のサポートなど。
- その他の活動

2. 心理的介入

- 個人に対する基本的な相談
- グループ・家族に対する基本的な相談
- アルコール/物質使用問題への介入
- 心理療法
- 個人・グループに対する心理的デブリーフィング
- その他の介入

活動の具体的な内容（回答を入力）

10.2. 専門医療者による精神疾患に対する薬物を用いた支援活動を行いましたか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け

10.3. 入院患者の精神保健ケアを行いましたか。
イエスにチェック → レベル4に振り分け

図1 質問票 Googleフォーム 試行版

組織・団体名
母団体がある場合はその組織名（例えば こころのケア 日本赤十字社）

回答を入力

担当者/報告者名

回答を入力

電話番号
ハイフンを入れて入力をお願いします。

回答を入力

メールアドレス

回答を入力

メンバー人数

回答を入力

質問

活動領域で該当するものに回答をお願いします。

「輸送」
大量のものや人を運ぶ仕組みです。クロネコヤマトや、飛行機会社やJR、日本郵政など。

該当

「栄養・食料確保」
食料確保はその国の主食を、非常に大人数に対して確保する領域です。栄養は、必要なカロリーがとれているのか、必要な栄養素がとれているのか支援する領域です。子どものミルクなどの支援も、栄養の領域が担当します。

該当

「避難所・仮設住宅運営」
もともと英語では避難所は「Shelter（一時避難所）」、仮設住宅運営「Camp Management（難民キャンプ運営）」と記載されていますが、日本人に馴染みやすい言葉に書き換えています。

該当

「保健」
医療・保健・福祉・公衆衛生すべて含まれます。

該当

質問

活動していた県

選択

活動していた市町村

回答を入力

活動場所

避難所
 仮設住宅
 各戸訪問
 救護所
 保健所
 医療施設
 その他: _____

質問

活動の受益者数

回答を入力

活動に際してMHPSSサポートの有無

有
 無

災害の影響を受けた地域を対象とした支援活動についての質問

1.被災地域への情報提供

被害状況、救援活動、生活支援（罹災証明、被災者生活再建支援制度、弔慰金等も含まれるか？）に関する情報提供をしましたか。
※例えば、組織や団体等によるチラシ配布、テレビ、新聞、ラジオによる情報発信、SNS、Webサイト、ホームページなどによる情報発信など。

はい
 いいえ

精神保健・心理社会的支援に対する啓発活動をしましたか。
※例えば、ストレス対処法などの情報提供や利用できる精神保健サービス・心理社会的支援（精保センターから発出される災害時のこころのケアに関するリーフレット等）に関するメッセージなど。

はい
 いいえ

その他 上記の情報提供を特定の人々に向けて行いましたか。
特定の人々： 災害時要配慮者（高齢者、乳幼児妊産婦、障害を持つ人、外国人等）

はい
 いいえ

図2 つなぎマップ 試行版

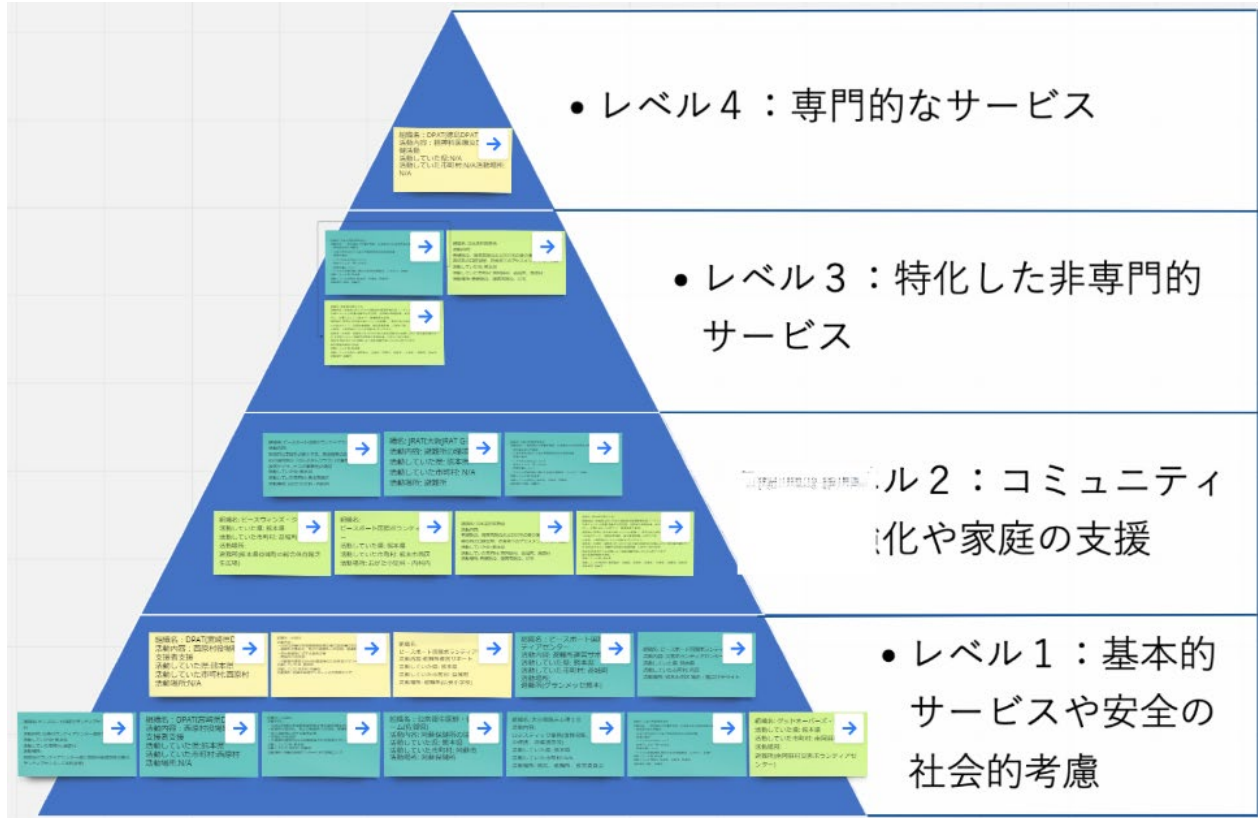


図3 付箋（個票） 試行版

クラスタ：保健
 組織カテゴリー：DPAT
 組織名：DPAT(徳島DPAT先遣隊)
 この支援活動を協働した組織名：N/A
 報告書の担当者名：N/A
 電話番号：N/A
 担当者のメールアドレス：N/A
 活動していた県：N/A
 活動していた市町村：N/A
 活動内容精神科医療及び精神保健活動
 支援対象グループ：N/A
 この活動の受益者数：N/A
 この活動は現在も継続中であるか(はい・いいえ) いいえ
 活動期間：2016年4月15日～4月22日(1週間)
 支援従事者数：医師1、看護師2、PSW1、ロジ1
 支援従事者がMHPSS関連の研修を受講しているか：N/A
 活動時間：N/A
 活動場所：N/A
 活動やサービスは無料、もしくは有料で提供されていたか：無料

